

第5回 国立大学法人奈良国立大学機構理事長選考・監察会議議事要旨

日 時 令和5年6月20日（火）12時57分～15時00分
場 所 奈良女子大学第一会議室
出席者 國枝委員、松本伸之委員、松本洋一郎委員、村岡委員、森川委員、越野委員、
和田委員、今委員、渡邊委員、中山委員、高田委員
欠席者 吉田委員
列席者 三谷監事
事務局 林機構総務課長、矢倉奈良教育大学総務課長、
河上奈良女子大学総務課課長補佐、野志奈良女子大学総務課総務係員
議 長 松本洋一郎委員

議事に先立ち、新任委員の自己紹介ののち、第4回会議の議事要旨（令和5年3月17日開催）を確認し、これを了承した。

審議事項

1. 理事長の業務執行状況確認結果について

議長から、前回の会議で実施した、令和4年度の理事長の業務執行状況の確認のためのヒアリングに対して、各委員からその内容を踏まえた意見を聴取し、資料1のとりまとめについて説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認し、「国立大学法人奈良国立大学機構理事長の業務執行状況の確認に関する基準」第2条第5項の規定により、理事長に対して確認結果及び参考資料を通知するとともに、奈良国立大学機構ホームページには確認結果のみを公表することとした。

2. 令和5年度における理事長選考・監察会議の運営について

議長から、令和5年度における理事長選考・監察会議の運営について確認したいとの発言があった。

事務局から、資料2-2により理事長選考等に関する制度の説明の後、資料2-1により、令和5年度の本会議の議題予定（案）及び次期理事長の選考方法等の今後検討が必要な事項について説明があった。

次期理事長の任期及び再任の可否に関しては委員から、再任は最低でも1回は認めるべきであるという意見、同一の者が最長で何年間継続して務めることができる仕組みとするかを検討すべきではないかという意見、中期計画の作成期間である6年を任期の区切りとしてはどうかという意見、中期計画の作成にあたって2年間務め、作成した中期計画の達成のために4年間務めるといった、継続性を勘案した仕組み構築すべきではないかという意見、理事長の任期3年、大学総括理事の任期が2年と1年の区切りであることにより、選考のための委員会や会議等を毎年度実施する必要性が生じているため、会議等の運営面での効率性を考慮して理事長任期は3年以上とすることが望ましいのではないかという意見等があった。

選考のスケジュールに関しては委員から、最終的に理事長候補者を文部科学省へ申出るにあたり、いつまでに何を決定する必要があるのかというスケジュールを明確にし、時間的余裕を持った選考を進める必要があるという意見等があった。

選考方法に関しては委員から、「案1 前回と同じ方法」であっても問題ないが、加

えて推薦を募る方法であってもよいのではないかという意見、案1は各委員の権限と責任によって推薦するため、各委員にとって重責であるが、前回の理事長選考においては学外者も含めて広く候補者を探索するという点で最も適切な選考方法であったという意見、本会議が候補者として選考する者に対し、大学総括理事の選考と同様に信任調査を行ってはどうかとの意見、それに対し、国立大学法人ガバナンス・コードには、「学長選考・監察会議は、自らの権限と責任に基づき、主体的に選考を行うべきである」、との記載があり、本会議として信任調査を実施する必要はないとの意見等があった。

3. その他 特になし。

以 上